

ライフサポートファイルとは

お子さんの生活の様子や、見守っている方々からの情報を、保護者の方が記録したり、書類を挟みこんだりしていきます。お子さんのことで面談するとき、ライフサポートファイルを確認することで、保護者からの説明だけでなく、客観的な記録も参考になるほか、教育・福祉を超えて支援方針を共有することでより良い支援に繋がります。

目的

支援が必要な子どもが抜けなく、切れ目なく支援を受けられるためにライフサポートファイルを活用し、保護者が持参する、支援者が活用するのが当たり前となるような支援体制を構築します。

配布対象者

支援が必要な障害児（0～18歳未満）および発達に気になる児童（障害の有無に関わらず）の保護者、かつ利用希望のある保護者

作成するメリット

本人・家族にとって

- ◆保護者の聞き取りの負担軽減  
支援機関が変わるたびに繰り返し成育歴等話すこととなる負担を軽減できます。将来的には、療育手帳や障害年金を申請する際、振り返るときの資料にもなります。
- ◆保護者の急な入院や親亡き後の心配の軽減  
保護者の代わりに本人の情報を伝える情報ツールがあることで、将来の不安を少しでも軽減することができます。

支援者にとって

- ◆支援の連携→一貫した支援  
支援者間で教育・福祉などの立場や視点の違いを超えて支援の方向性を共有する助けになります。
- ◆本人のイメージがつかめる記入されたシート、綴じ込まれた資料から本人の全体像把握に役立ちます。



図：鎌ヶ谷市HPより

ライフサポートファイルについて

平成30年度実績

- 配布冊数 178冊（200冊作成し、ホームページからのダウンロードも可能とした）  
【内訳】 こども発達センター（相談診療部門）88人 / 障害福祉課（郵送含む）83人  
教育研究所（五香分室）5人 / 基幹相談支援センターCoCo 2人、  
うち医療的ケア児への配布40人（対象者68人）
- 配布機関 障害福祉課、教育研究所（五香分室）、こども発達センター（相談診療部門）、基幹相談支援センターCoCoでの配布および郵送
- 周知方法 ◆広報まつど、HP、SNS、チラシ、見本の郵送【配布4機関、子育て関係課（4）、保育所（64）、認定こども園（9）、小規模保育事業（61）、幼稚園（40）、小学校（46）、中学校（22）、高校（8）、特別支援学校（3）、児童通所支援事業所（65）、医師会、病院（85）  
◆連絡会等での説明【校長会、保育園連絡協議会、幼稚園連絡協議会、子育て支援に関する関係機関との情報交換会】  
◆相談支援専門員・【スキルアップ研修内でLSF研修を2回実施。7/31・2/21】

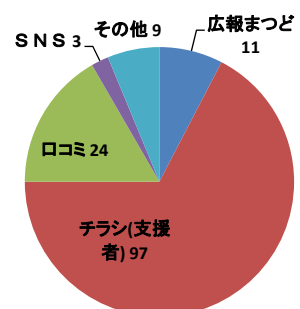
今年度の取り組み

松戸市地域自立支援協議会こども部会で、配布後も引き続きサポート体制等の検討中。利用者向けのアンケート調査を実施し、活用状況等を検証した。また、書き方講座の案内チラシの送付や、アンケートで寄せられた活用例の紹介・質問への回答を郵送し、フィードバックを行った。  
今後もライフサポートファイルを保護者が持参し、支援者が活用する状態の定着を目指す。

今後の課題

ライフサポートファイルを手にしてもらった後、いかに中身を充実させるか（書く機会の提供、モチベーションの維持）、また、書き上げたものをいかに活用するか（支援者への周知徹底、各機関が活用し合えるシステムづくり）について議論を深めていく。

知ったきっかけ



**対象者**

- 配布冊数 191冊 (令和元年5月末までの配布者)
  - 【内訳】こども発達センター(相談診療部門) 94人 / 障害福祉課(郵送含む) 88人
  - 教育研究所(五香分室) 7人 / 基幹相談支援センターCOCO 2人
  - うち医療的ケア児への配布40人(対象者68人)
- アンケート送付数 191人 180世帯(きょうだい重複11人分)

**結果**

■回収数 67世帯(回収率37%)

